

大和利充さん、鈴木宏和さん 愛知県田原市



基本情報

大和利充さん（写真左端）

◆栽培品目

キャベツ

◆外国人材の受入れ

アフマド アイヌル ロフィク さん
（男性、32歳、インドネシア、特定技能
1号、派遣形態（※））（写真左から2番目）
※PERSOL Global Workforce 株式会社
（以下「パーソル」という。）より
令和7年2月から受入れ

鈴木宏和さん（写真右端）

◆栽培品目

キャベツ、セロリ

◆外国人材の受入れ

ヘルミ アブドゥルロキブ さん
（男性、23歳、インドネシア、特定技能
1号、派遣形態（※））（写真右から2番目）
※パーソルより令和6年12月から受入れ

受入れのきっかけ

（大和さん）

- 外国人材の受入れは全く考えていなかったが、労働力不足のリスクを未然に防ぐため、外国人材の受入れを勧められていた。
- 令和6年夏に自分がケガをしたことをきっかけに外国人材の受入れを行った。

（鈴木さん）

- 親やパート等が高齢となり、労働生産性が落ちてきていた。
- 臨時雇用で思うように人が集まらなかったところ、外国人材を紹介された。

外国人の業務内容・受入れの効果

（大和さん）

- キャベツの収穫や集荷作業を行ってもらっている。作業にはまだ慣れていないが、丁寧で真面目な仕事ぶりである。1か月間で作業に慣れて、3月の繁忙期に活躍してもらいたいと考えている。

（鈴木さん）

- 水管理等判断が必要な作業やトラクター・車を使う作業を除き、栽培管理のほぼ全ての作業を行ってもらっている。
- 労働意欲が高く、仕事を覚えることが早い。収穫でキャベツを切る作業が初日でできた。能力が高いため、うまく活かしてあげたいと常々思っている。
- ヘルミさんが勤務時間を記録するタイムカードを自主的に作ってくれた。勤務時間の管理の手間が減るとともに、汎用性のあるツールであり、助かっている（大和さんにもツールを提供）。

生活や教育に関する支援

- ・ アパート（Wi-Fi完備）を借りて、ロフィクさんとヘルミさんの2人で同居。
- ・ 農業の勉強のため、JAの出荷施設などを案内している。
- ・ 今後は、地域のお祭りなどにも参加してもらうことを考えている。

（大和さん）

- ・ アパートとは別に休憩用のプレハブを設置している。



休憩用のプレハブ

今後の展開や取組

（大和さん）

- ・ 派遣でのスポット雇用という選択肢ができたので、うまく活用していきたい。
- ・ 特定技能の直接雇用も選択肢として検討していきたい。

（鈴木さん）

- ・ 農業人口の高齢化により、今後、残っている農家により農地が集約され、大面積をこなさなければならなくなってくる。機械なども有効に使い、一人当たりの労働生産性を高めていかなければ生き残っていくことはできない。
- ・ 外国人を軸とした常用雇用と臨時雇用を効果的に組み合わせて、相場に左右されない契約出荷を中心に経営を行っていく。

特定技能外国人の声

（ロフィクさん（写真中央左））

- ・ 日本とインドネシアでは農業のやり方が違う。日本の農業機械を学び、省力化の農業のイメージを知りたかったため、日本の農業に興味を持った。
- ・ 働く中で、大和さんが温かい人であることが良かった。

（ヘルミさん（写真中央右））

- ・ インドネシアで高校生から農業の勉強をしていた。日本の農産物は品質が高いことで有名であるため、日本の農業を学びたいと思った。
- ・ 働く中で、鈴木さんが優しく、風邪を引いたら心配してくれたことが良かった。
- ・ 将来は、日本またはインドネシアで鈴木さんのように農業経営を行いたい。



⇐ 両端はパーソルの近藤さんとアキラさん（通訳）

ロフィクさん、ヘルミさんは、不安なことがあればスマートフォンで調べている。それでも解決できない場合は、パーソルに相談している。